HATO BUS
2階建てオープンバス
"O Sole mio"
オーソーミオ
好評運行中!!
はとバス予約センター ☎03-3761-1100 受付時間:8:00～20:00 年中無休

発行所 株式会社 旅行新聞新社
本社 〒101-0021 東京都千代田区外神田6-7-2真田ビル4階
電話03(3834)2718(代表) FAX03(3834)3748
関西支社 〒556-0011 大阪市浪速区敷津中3-5-12新敷津第2ビル3階
電話06(6647)5489 FAX06(6647)7626
日本専門新聞協会加盟
国土交通省交通運輸記者会加盟
提携紙 韓国旅行新聞

11月21日(日)
2010年(平成22年)
毎月1日、11日、21日発行
昭和54年4月19日
第3種郵便物認可
購読料 年間16,500円
振替00190-4-38126

業界人のための業界専門紙

旬刊 旅行新聞
THE RYOKO SHIMBUN
第1401号

特集 No.265 Special feature article

金丸流「食による地域おこし」術

消費者に届くまでを意識する

「田舎力 ヒト・夢・カネが集まる5つの法則」(NHK出版生活人新書)は、発売から1年半たつが現在もインターネット書店アマゾン「地域経済部門」で、ほぼ1位を維持する。著者は食環境ジャーナリスト、金丸弘美氏。全国の食の現場を取材するうちに、その経験、知識を活かして自らが食総合プロデューサーとして「食による地域おこし」に携わるようになった。金丸流「食による地域おこし」術を聞いた。 【沖永 篤郎】

金丸 弘美(かなまる・ひろみ) 1952年、佐賀県唐津市生まれ。食環境ジャーナリスト、食総合プロデューサー。これまで取材で訪れた地域は海外も含め、900カ所以上。食の現場を取材するうちに、その経験、知識を活かし自ら食育と地域づくりを連携させた食のワークショップ、プロモーション、ツアー展開など、アドバイザー事業に携わるようになった。08年、総務省地域力創造アドバイザーに。09年、内閣官房地域活性化応援隊地域活性化伝道師に任命。行政のアドバイザー事業にも携わる。活動や旅日記を紹介する「金丸弘美のスローフード」は(http://www.banraisya.co.jp/kanamaru/home/index.php)。

食のテキスト化で財産共有

徹底した地域調査と食のテキスト化

食による地域おこしに携わるなかで、金丸氏は地域食材のブランド化の依頼を多く受ける。埋もれている地域食材をブランド化し、大市場である東京など都市部に売り込みたいというもの。

最近は、総務省が認定する地域力創造アドバイザーとして茨城県常陸太田市の「常陸ぜんは」、農林水産省のブランド化事業として岐阜県高山市の「宿儺(すくな)かぼちゃ」のブランド化に携わった。

地域食材をブランド化するうえで必ず使うのがテキスト化の手法。食文化の背景、栄養価、栽培法、収穫時期、生産地、料理例などを正確で徹底的に調べ、その食材の物語をテキストとしてまとめる。「背景を説明できるテキストを準備し、ただ『おいしいですよ』だけでは終わらない売り込みをはかろうという戦略」。

自分が売り込む商品を熟知していなければ、客に商品の魅力を納得してもらい購買につなげることはできない。テキストはいわば営業ツールといえる。金丸氏は「生産偏重の農業政策のなかで、生産者側は生産することだけに生懸命で、その先、消費者がどういう反応をしているのか、出口がどうなっているのかが見えていない」と強調する。その食材を使ってどういう料理への用途があるのか、健康にどういうのかといった提案がなければ、次の展開につながらない。

東京などの市場に地域食材を売り込もうとする場合、輸入品も含めた多様な食材と競合することになる。市場に受け入れられるには、その食材はいつ獲れて、どんな状態で送れるのかを把握して即送れるのかを把握して即送れるのかを把握して即